



広報

# きょうたんて

vol.65

2009

平成21年

8月号



男性日本最長寿

木村 次郎右衛門さん

(丹後町中野・112歳)

もくじ

健康長寿 ..... 14  
 ・ 男性日本最長寿 木村次郎右衛門さん ..... 3

地域情報化 ..... 4  
 ・ 地域情報化セミナー in 京丹後 開催 ..... 4

魅力発信 ..... 6  
 ・ 奮闘してます アミティ丹後 ..... 6

産業・雇用 ..... 8  
 ・ がんばっています 産業再生 ..... 8

地域活性化 ..... 9  
 ・ 京都縦貫自動車道 休日割引で利用しやすくなりました... 9

公共交通 ..... 10  
 ・ 丹後地域の公共交通 国土交通大臣表彰 受賞 ..... 10

京都府のひろば ..... 11  
 まちづくり ..... 12  
 ・ はじまります「避難行動要支援者登録制度」 ..... 12

表彰 ..... 14  
 地域振興 ..... 15  
 ・ あしぎぬ顕彰祭 開催 ..... 15

消防の広場 ..... 16  
 ・ 台風の話 ..... 16

災害対策 ..... 18  
 ・ ニホンザルの被害をなくすために ..... 18

誌上経営セミナー ..... 20  
 ・ 事業者のみなさんを支援します ..... 20

市民参画 ..... 21  
 ・ 平成20年度の実施状況 ..... 21

まちの情報 ..... 22  
 ご意見箱 ..... 24  
 市立図書館 ..... 26  
 文化財 ..... 27

苦にするな 嵐のあとに日和あり

男性日本最長寿になられた 木村次郎右衛門さん (112歳・丹後町中野)

六月十九日、男性の日本最長寿になられた木村次郎右衛門さん(百十二歳・丹後町中野)を、七月二十日、山田啓二京都府知事および中山泰京丹後市長が表敬訪問しました。山田知事および中山市長から「ますますお元気で長生きしてください」などと、男性日本最長寿を祝う言葉が贈られました。木村さんは、「サンキュー ベリーマッチ」と英語も披露されるなど、終始笑顔で受け応えされました。なお、木村さんは、七月十九日現在、男性の長寿世界第二位に認定されておられます。



山田啓二京都府知事(中央)と中山泰京丹後市長(左)が表敬訪問。写真右・木村次郎右衛門さん

木村次郎右衛門さんは、明治三十年四月十九日、丹後町遠下で出生。今年で満百十二歳を迎えられました。上宇川尋常高等小学校および京都郵便局通信生養成所を卒業後、約四十年間にわたり地元の郵便局で勤務。退職後は九十歳になるころまで、農業に従事してこられました。孫十五人、ひ孫二十五人、玄孫九人に恵まれ、現在は、丹後町中野でますます元気に、毎日をご過ごしておられます。

木村さんは毎日、朝六時に起きて夜八時に就寝。三食を欠かすことはなく、少食を心がけておられます。毎日、新聞を読むことを楽しみにされており、一時間から二時間かけてじっくりと読むことが日課。また、国政にたいへん関心を寄せておられ、テレビの国会中継は欠かさずご覧になるほか、大相撲のテレビ観戦も楽しみにしておられるとのこと。木村さんが一番の楽しみにされていることは食事とのこと。「嫌いなものはなく、何でも食べます。『食細くして命ながかれ』。食べ過ぎないことを心がけています。『お酒は』の問い



右から、木村次郎右衛門さん、明香ちゃん(玄孫)、美香さん(ひ孫)

「日ごろはどんな風に過ごされていますか」との質問に対し、「苦にするな嵐のあとに日和あり」と、ご自身がモットーとされている句を力強く披露。そして「その日その日を完全に過ごすことを大切にしています。この年まで元気であらう、ありがたいやらうれしいうらや。これもみなさんのおかげです」と笑顔でお話しくださいました。

指導者としての信念 三村教諭 熱弁

「第五十九回『社会を明るくする運動』きょうたんご市民のつどい」(主催「社会を明るくする運動京丹後市推進委員会」)が七月十二日にアミティ丹後(網野町網野)で開催され、約三百四十三人のかたが参加されました。



学生の指導状況を熱く語る 三村教諭

今回の市民のつどいは、だれもが幅広く参加できる活動を展開し、夢や希望を持ってお互いを支えあい、安心して暮らせる明るい地域づくりをめざし、「立ち直ること・支えること・出会うこと」をスローガンとして開催されました。第一部では、平成二十年度の「社会を明るくする運動」の作文コンテスト優秀作品に選ばれた六人の生徒による朗読発表が行われました。続いて第二部では、府立海洋高等学校

校(宮津市)の三村和久教諭による「人は変えられる。一緒なら」をテーマとした講演が行われました。三村教諭は、昭和六十年から十八年間、網野高等学校でレスリング部の指導者として活躍。現在は、府立海洋高等学校で生徒指導部長(レスリング部顧問)として、目標を持ちチャレンジすることの大切さを指導されています。講演では、レスリング部強化のため、平成元年に立ち上げた「チビッコレスリング教室」を例に挙げ、幼少期からの一環教育の必要性を話されました。同教室の第一期生、網野町浅茂川出身のアテネオリンピック銅メダリストの井上謙二さんを育てられ、また網野高等学校の教え子には、北京オリンピック銀メダリストの伊調千春さんや〇八年世界選手権優勝の正田絢子さんを育てられ、レスリングが世界でも通用できる礎を築かれました。同海洋高等学校の生徒指導の話では、まず「ルールの再認識」、次に「ルールを守る・守らせる」、「ルールを変えろ」という生徒、教師の実践により、生徒をはじめ学校内部が変わっていく状況が話され「先生をはじめ地域の大人のかたは、生徒に対して、いけないことはいけないと大きな声で注意してあげることが必要」と強調。地域全体で子どもたちを見守って育てていくことの大切さを話されました。

# 京丹後市から 全国へ発信

地方の情報化を  
考える

# ICTでよみがえれ 地方の元気!

京都府内で初

## 全国地域情報化推進セミナー2009 in 京丹後 開催



同セミナーは、地域情報化（地域の情報基盤整備やその利活用など）の普及をめざし、毎年、全国の自治体で開催されています。

京都府内で初開催となる今回は、「ICTで地方の元気をいかによみがえらせるか」をテーマに、京丹後市で開催。一日目には、慶應義塾大学大学院の中村伊知哉教授を招い

ICT（情報通信技術）を活用して地方の元気をとりもどそうと、全国の自治体や企業が集って先進的事例の紹介や情報交換を行う「全国地域情報化推進セミナー2009 in 京丹後」へ主催・同実行委員会（京丹後市・京都府・総務省近畿総合通信局・財全国地域情報化推進協会）を、七月二日・三日の二日間、市内で開催しました。自治体や企業担当者など全国から延べ約三百人が参加。ICTを活用して地方の元気をとりもどすための方策などについて認識を深め、京丹後市から全国へ発信しました。

「メディア融合と地域情報化」と題した基調講演をはじめ、地域活性化に向け丹後地域で行われている携帯電話を活用した取り組み「ふるさとケータイ事業」の事例発表などを実施。

また二日目には、東京大学先端科学技術センターの近藤則子交流研究員を招き、「老後を一変する情報革命」おせつかい人がICTの光と影を伝えよう」と題した特別講演を開催するとともに、「ICTを活用した地域メディアによるコミュニティの活性化」をテーマとしたパネルディスカッションを実施。地域メディアの役割について議論されるなど、参加されたかたは、地域情報化の推進に向けての認識を深めました。

基調講演

### 地方から世界へ番組の配信を



慶應大学大学院  
メディアデザイン研究科  
中村 伊知哉 教授

ここ十五年で、我々の身の周りにはテレビや電話以外に、パソコンや携帯電話が普及し、テレビの地上デジタル放送や高速で情報のやり取りが可能なブロードバンドも整備されてきています。それに伴い、インターネットを介して映像や音楽が配信されるなど、さまざまなメディア（テレビや電話、パソコン、新聞など、音や映像、文字などの情報を伝達するための媒体）を融合するためのネットワークが形成されてきました。これほどのネットワークを形成している国は日本以外にはなく、今ではこのネットワークを使って提供されるコンテンツ（音楽や映画、文字などの情報）に注目が集まっています。

ICTを活用すれば、地方から直接、海外とのやり取りができるため、地域情報を発信することができ、また国でも地域で番組をつくって世界へ向けて配信するという動きも出てきています。

情報発信のために使われる技術はこの地域でも同じかもしれないが、そこをつくられる番組は、地域の文化や歴史、人間性などによってそれぞれ異なり、同時にそれが地域の競争力としても現れます。京丹後市においても、地域性を活かした情報発信に向け、地域情報化がますます発展することを祈っています。

### パネル ディスカッション

## ICTを活用した 地域メディアによるコミュニティ放送の活性化



2日目には、NPO法人はりまスマートスクールプロジェクトの和崎宏理事長をコーディネーターとして、パネルディスカッションを開催しました。

パネリストにはNPO法人京丹後コミュニティ放送の福永孝宣理事長、株式会社中海テレビ放送の高橋孝之専務取締役を招くとともに、東京都杉並区から杉並TVの高橋明子代表が遠隔参加。「ICTを活用した地域メディアによるコミュニティ放送の活性化」と題して意見を交換しました。みなさんのご意見の一部をご紹介します。



NPO法人  
京丹後コミュニティ放送  
福永 孝宣 理事長

NPO法人京丹後コミュニティ放送は、今年6月に新たに開局した「FMたんご」を運営されています。

FMたんごは、広域な京丹後市の中で、市民のみなさんにとってどのような情報が必要かを考え、FMラジオだからできる地域住民参加型の放送局づくりをめざして、現在活動中です。

### 市民を結ぶ情報伝達手段 FMたんご

なぜ今ラジオなのかとよく聞かれます。ラジオは古くからある媒体。情報伝達の手段として、持ち運びに便利で値段も安い。いつでもどこでも聴くことができるというその手軽さは、ほかのメディアには類を見ない利点だと思っている。

特に地方のコミュニティ放送は、地域密着型の情報発信媒体として、また非常に強いものとしても見直されている。合併により広大な市域となった京丹後市では、住民同士を結ぶ情報伝達の手段。将来的には、丹後半島全体をカバーできるような運営がしたい。

### 地域コミュニティ放送で 誇りあるまちづくりを

地域コミュニティ放送に必要なものは、地域におけるメディアとしての信頼。信頼してもらえただけのコンテンツ（内容）を放送しているかどうかが大切で、そのためにはニュースは絶対に必要。我々は、地域のさまざまな情報を提供することで、法人として大きな利益を得ることはないが、地域に文化を配当し、地域貢献を行っている。ケーブルテレビをつくることや、番組をつくって放送することが我々の目的ではない。それらは手段であって、本当の目的は、放送を通して誇りあるまちをつくること。



株式会社  
中海テレビ放送  
高橋 孝之 専務取締役

「株式会社 中海テレビ放送」は、鳥取県西部を放送範囲とする第三セクターのケーブルテレビ局。情報内容の充実に重点を置きながら、地域の人々をつなぐための情報交流を展開されています。また、高橋専務取締役は、鳥取県チャンネルコンテンツ協議会副会長や総務省地域情報化アドバイザーなども歴任されています。

### 番組作成で人材育成 住民ディレクター活動



アクション・リサーチ  
高橋 明子 代表

シンクタンクで地方公共団体の情報化計画立案などの研究活動を経て、平成19年に独立。地域情報化の現場での活動を踏まえて研究を展開するアクション・リサーチを設立。

地域住民が映像制作を通じて活動する「住民ディレクター活動」（杉並TV）を東京都杉並区で実施されており、インターネットを中心に、映像を配信されています。

住民ディレクター活動は、住民自らがビデオカメラを使って、生活者の視点で番組をつくる活動。番組をつくる経過を経て企画力を身につける「人材育成」を目的としている。番組そのものよりも、番組をつくるその過程が大切。番組づくりの過程においては、これまで知らなかったような、地域における新たな発見や気づきもある。

住民ディレクターはそれぞれが点。それぞれをつなぎ合わせて面にし、地域と地域のつながりをメディアをきっかけに広げていきたい。

地域情報化

## 丹後の応援団 東京で 丹後をPR

東京都千代田区人形町で、丹後ちりめん製品をはじめとする着物の卸販売業を営まれている、丹後出身の小長谷侃さん。丹後広域観光キャンペーン協議会の観光大使に任命されており、東京から丹後の魅力発信にご尽力いただいています。

地下鉄日比谷線人形町駅から徒歩二分のところにある小長谷さんのお店では、丹後ちりめんの白生地を種類ごとに所蔵。今では丹後で織られることがなくなった珍しいちりめん生地も展示さ



店内は丹後の特産品が目白押しです



株式会社 三優小長谷  
〒103-0013  
東京都中央区日本橋人形町2-25-2  
☎03-3667-7353 FAX03-3669-5838  
ホームページ  
<http://www.obase.co.jp/index.html>

「丹後をPRしてやろう」というかたがおられましたら、ぜひご協力をお願いします。

また、アミティ丹後と連携して、店の一角に設けられている丹後の特産品展示販売コーナーに板わかめ、オイルサーディン、醸造品などの商品を並べていただいているほか、店先に設置した丹後ののぼりやポスターを見て店内に入つてくれるお客さんなど、多くのかたに丹後の観光などを紹介いただいています。

京都府の後援を得て毎年「ふるさと情報プラザ」（東京都千代田区）で丹後の着物や特産品の展示会を開催されるなど、日ごろから丹後のPRにご尽力いただいている、とても心強い応援団です。丹後ゆかりのかたのお力で、このようなアピールが展開されれば、丹後の魅力が全国へとますます広がることを期待できます。

また、アミティ丹後と連携して、店の一角に設けられている丹後の特産品展示販売コーナーに板わかめ、オイルサーディン、醸造品などの商品を並べていただいているほか、店先に設置した丹後ののぼりやポスターを見て店内に入つてくれるお客さんなど、多くのかたに丹後の観光などを紹介いただいています。



多くの人でにぎわう「たんご朝市」（網野町網野）

## 地場産品の 常設展示・即売

丹後の豊富で優れた地場産品を展示・即売し、丹後を訪れる観光客のかたをはじめ、地域内外に幅広くPRし、販路開拓と需要の拡大に努めました。

また、京都市内に開設している特産品ショップ「ホッと丹後」では、丹後地域の特産品の販売や観光情報提供をおとして「丹後」の魅力を広く発信し誘客を図るとともに、産品の販路拡大をめざして、生産者による直接販売や旬の食材フェアなど

おかげさまで  
売上増!

# 奮闘して アミティ丹後

平成二十年度事業概要

丹後地域には、さまざまなようなあざやかな光沢のある絹織物「丹後ちりめん」をはじめ、地酒、醤油等醸造品など、風土と伝統技術の中で育まれた多くの地場産品があります。

アミティ丹後（網野町網野）では、地元のかたや丹後を訪れる観光客のかたはもとより、全国のかたに丹後の魅力を伝えるため、全国各地の都市部において物産展を積極的に開催し、地場産品の紹介・PRを図っているほか、時代のニーズを捉える情報の収集・提供と新商品開発の支援、人材の育成などに取り組んでいます。

魅力発信

を随時開催しました。さらに、「ホッと丹後」を拠点として、毎月第三金曜日にKBS京都が開催する朝市に出展しているほか、京丹後市観光協会との共催でBiv i二条（京都市中京区）において夏期誘客イベントを開催し、多くのかたに丹後の魅力をアピールしました。

## 全国への販路を開拓

消費者と生産者との直接の出会いの場を設けることにより、新たな需要を呼び起こして販路を拡大し、魅力ある商品開発の道をひらくことを目的として、高槻市をはじめ、名古屋、東京など大消費地において「丹後地域で生産される、優良な地場産品の販売・PRに取り組んできました。」

## 地域コミュニティ事業

アミティ丹後の知名度アップと「人の集う施設」としての仕組みづくり、ギャラリーの活用促進を図るため、夏休みものづくり体験や企画展を開催。また、地域の生鮮野菜などを積極的にアピールするため、毎

## 平成 20 年度事業実績

	19年度	20年度	対前年比
● 展示即売事業売上額			
アミティ丹後	39,760,287 円	40,244,799 円	101.2%
ホッと丹後	13,442,546 円	18,953,701 円	105.7%
● 地域外出展事業売上額			
のべ会場数	31 会場	45 会場	145.2%
のべ日数	61 日間	78 日間	127.9%
売上額	6,535,968 円	9,078,117 円	138.9%
● 施設使用料収入			
使用件数	602 件	621 件	103.2%
使用料	8,053,895 円	8,257,923 円	102.5%

※ホッと丹後については、19年7月開設のため、月平均の前年比を採用しています。

## 第2弾 緊急雇用対策

# 地域産業の活性化へ期待 新規事業で七人の求人

市では、厳しい雇用失業情勢に対応するために農林漁業分野において失業者のかたを雇い入れて行う新規事業の企画提案を募集したところ、七件の応募があり、審査の上、そのすべての事業を採択し委託契約を締結しました。

これにより、七人のかたの新たな雇用が創出されるとともに、農林漁業分野における販路拡大や地産地消へ向けた流通の仕組みづくり、経営規模の拡大へ向けた取り組みなど、地域産業の活性化が期待されます。

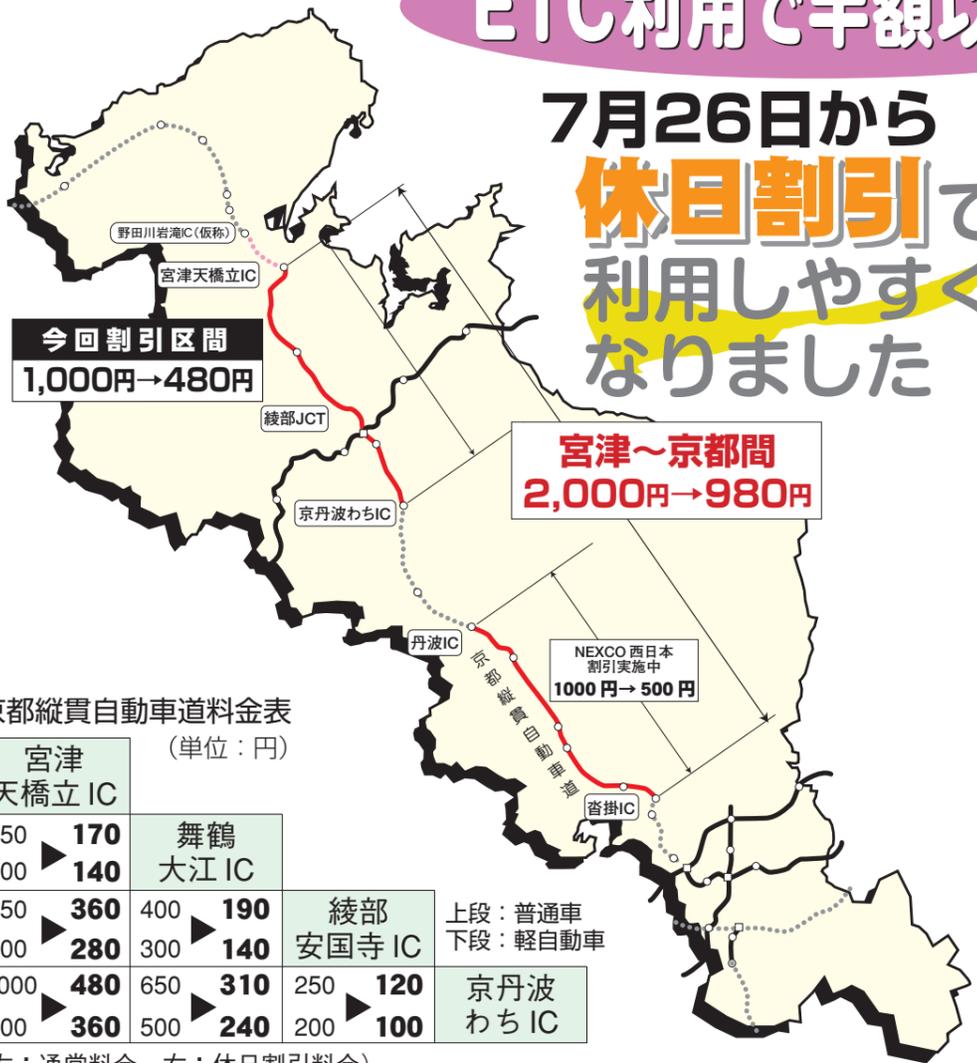
事業者名	業務名
湊漁業協同組合 (久美浜町湊宮)	「旬味・旬食」の鮮魚加工による販路拡大業務
株式会社くみはま懸 (久美浜町浦明)	地産地消を促進！農産物集荷・流通システムの確立業務
有遊農楽舎 (大宮町河辺)	滞在型実習体験観光農園開設整備業務
京丹後製茶(株) (久美浜町永留)	京丹後産宇治茶の生産に係る茶園管理実習業務
産直組合京たんご (網野町木津)	地産都商販路開拓推進員養成業務
木下農園 (弥栄町堤)	市場出荷品目の拡大による経営の多角化と食育活動の推進業務
有久美浜観光園 (久美浜町永留)	水稻育苗ハウス有効活用推進と水稻栽培規模拡大業務
【委託期間】 平成 21 年 7 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日	
【委託料】 15,011 千円	
京都府の緊急雇用対策事業費補助金を活用して実施	

# ETC利用で半額以下に!

## 7月26日から 休日割引で 利用しやすくなりました

### 京都縦貫自動車道

### 宮津天橋立〜京丹波わち



京都縦貫自動車道料金表

宮津天橋立 IC		舞鶴大江 IC		綾部安国寺 IC		京丹波わち IC	
350 ▶	170	400 ▶	190	250 ▶	120	800 ▶	360
300 ▶	140	300 ▶	140	200 ▶	100	650 ▶	310
750 ▶	360	600 ▶	280	500 ▶	240	1000 ▶	480
800 ▶	360	500 ▶	240	200 ▶	100	800 ▶	360

上段：普通車  
下段：軽自動車

(左：通常料金 右：休日割引料金)

### 宮津野田川道路開通が前倒しになります

鳥取豊岡宮津自動車道の一區画、宮津野田川道路（宮津天橋立〜野田川岩滝間）の開通は平成 24 年 3 月が予定されていましたが、少しでも早くみなさんに使っていただくために、舗装工事などを 1 年早く完成させ、平成 23 年 3 月に供用開始することとされました。開通すれば、都市部がより身近になります。

七月二十六日から京都府の「尽力」で、土・日・祝日およびお盆期間の八月十三・十四日に限り、ETC（自動料金収受システム）搭載車を対象に、通行料金を約五二%値下げしています。これにより、沓掛〜丹波間で実施されている割引と合わせると、普通車では片道九八〇円で京都市内にアクセスできることになり、市民のみなさんの利便性を

府北部の活性化を図ることを目的に、京都縦貫自動車道の宮津天橋立〜京丹波わち間で、通行料金の割引が開始されました。

の向上のほか、都市部からの観光客増加も期待できます。割引は平成二十三年三月まで続けられますので、レジャーや観光にぜひご利用ください。  
※インターチェンジ通過後の料金表示や ETC 車載機には通常料金が表示されますが、後日の ETC カード利用精算時に割引適用されます。

12自治体 独自上乘せ  
雇用調整金  
雇用安定を重視  
がんばっています!

# 産業の再生

本市のものづくり産業は、全体として大幅に仕事の受注が減少していますが、この不況を何とか乗り切るために、事業主や従業員のみなさんは懸命に不況対策に取り組んでいます。ともに、本市も雇用や経営の支援に全力をあげています。その状況の一端をレポートします。



▲本市の取り組みをNHKが取材。全国ニュースで放映されました。(写真は撮影風景)

延べ六千三百人が受講  
教育訓練を  
世界的な金融危機や日本経済の景気後退により、大幅に仕事の受注が減少している市内企業では、この不況を何とか乗り切るため、受注の確保や雇用維持にがんばっています。

市内企業では、昨年十二月に「中小企業緊急雇用安定助成金」という休業などにかかる国の五分の四の助成に対し、市が創設した、残りの対象経費（基準賃金額）の全額を助成するという制度を利用し雇用の維持を図っておられ、現在、百五十二件、三千八百万円の利用があります。

あわせて、京都産業 21 や市商工会と連携して実施されています。

信用保証料利用で  
百九十件が経営維持刷新  
また、市内企業では市の信用保証料補助や「あんしん借換資金等利子補給事業」を利用して、事業運営に必要な借入やその据え置き措置など、経営維持にがんばっておられます。信用保証料補助では、四月以降百九十件、三千八百万円の利用があり、今年度中に支払われた「あんしん借換資金」の利子は全額補給することで、商工業者の経営安定



講習会に多くのかたが参加(人材育成緊急対策事業)

このほか市では、製造業・建設業経営革新補助金などを創設し、不況下でも新商品開発や新分野への進出など、意欲のある企業への支援策を実施しています。また、平成二十年度の会社都合による離職者数の増加から、国の緊急雇用創出事業を利用して、七月現在で三十八人のかたの雇用を創出。さらに緊急雇用対策として、秋には二十人程度の臨時職員の募集も計画しています。

本市は、国の「企業立地に頑張る市町村全国 20 選」に選ばれており、今後ともさまざまな事業支援に努め、事業主や従業員のみなさんとともに、産業の再生に尽くして参ります。

主な施策	今年度の状況
<b>中小企業緊急雇用安定助成金</b> 景気の変動などにより事業活動の縮小を余儀なくされた中小企業事業者のかたが、雇用する労働者の就業維持のため国の「中小企業緊急雇用安定助成金」を活用し、雇用者の一時休業などとした場合の休業手当などの一部（5分の1相当分）を助成し、雇用者の就業維持をめざします。	<b>予算額 6,944 万円</b> <b>152 件 約 3,800 万円 (7 月現在)</b> ※京都産業 21 や市商工会と連携して実施する教育訓練事業を延べ 30 日間開催。市内の事業所 延べ 340 社、約 6,300 人のかたが受講されています。
<b>信用保証料補助金</b> 市内商工業者のかたなどが、事業運営に必要な運転資金や設備資金を借り入れる際に負担する信用保証協会への保証料の一部を補助し、資金調達円滑化と市内商工業の振興を支援します。	<b>予算額 5,000 万円</b> <b>190 件 約 3,800 万円 (7 月現在)</b> 昨年 11 月から、制度融資については全業種で保証率 100% としており、補助申請件数および金額ともに、昨年同時期と比べて大幅な増加となっています。市では今後、大幅な補正予算を計上し、引き続き支援することとしています。
<b>あんしん借換資金等利子補給</b> 市内の商工業者のかたなどが、事業運営に必要な借入れ資金の利子補給をすることで、資金調達を円滑にし、市内商工業などの振興を支援します。	<b>予算額 8,059 万円 (来月 1 月に一括申請の制度のため、現在高なし)</b> 「京都府あんしん借換融資制度」を活用した融資について市は、平成 21 年中に支払われた利子を、全額補給することとしています。この制度をご利用いただくことで、借入資金の元利償還を最大で 1 年間据え置きさせるのと同様の効果を得ていただき、さらなる経営安定を図ります。

※今後とも積極的にご活用ください。

峰山町、弥栄町、網野町、丹後町を結ぶ全長七・一五キロの基幹農道で、既に一部の六・三キロを使用しており、市道として広く利用されています。

便利で住みやすい  
ふるさとをめざして

広域農道 丹後地区

丹後土地改良事務所は、昭和五十四年の開設以来、十一地区、約八二〇ヘクタールのほ場整備をはじめ、五地区で約二〇〇ヘクタールの農道、八地区の水路整備、九地区の防災事業などを進めています。近年では、農業の生産基盤や農村の生活環境を整備を行うだけでなく、住民や農家のみなさんが主体となった地域協働活動により、ふるさとづくりが進められるよう取り組んでいます。



丹後広域農道の愛称で親しまれています

最終工区の完成を記念して散策道を設置。記念植樹も行いました(丹後町)

京都府のひろば

平成20年9月号から、京都府で取り組まれています市民生活にかかわる事業などについてご紹介しています。

人が往き 農業が活き 自然が生きる

丹後土地改良事務所

本年度にこの農道の全線工事完成をめざし、現在、最後の工事などを実施中です。

生産の組織化・経営能力の向上をめざして  
ほ場整備事業 大宮町森本地区

平成二十五年度の完成をめざし、約四〇ヘクタールの農地の区画を、大区画に整形すると同時に、環境との調和にも配慮しながら道路や水路・排水路の整備を行っています。この整備により、大型機械などを利用できるようにしたり、水田を稲作以外にも活用できるようにしたりして、農産物を生産しやすくし、地域特産物の生産量を増加させるとともに、農業生産法人の設立などを推進して、担い手の育成や確保が期待されています。

また地元では、同事業の実施に合わせ、ほ場整備に関係する地域のみならず、将来を担う地元の子どもたちを対象に、地域協働活動が盛んに展開されています。

身近にある貴重な自然環境を、少しでも守るための知識を身につけるため、講演会を開催したり、地元関係者と地



早春に移植したミクリ(京都府の絶滅危惧種)が待つ観測池に、川の生き物も引っ越しました



▲絶滅寸前種のマルバナサシモトウガラシも自生しています

丹後地域の公共交通  
国土交通大臣表彰を受賞

丹後地域で公共交通の活性化に取り組んでいる「分りやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議(丹後二市二町の自治体や公共交通の関係者で構成今井一雄座長)」が、公共交通の活性化および再生に顕著な成果を上げていたとして、国土交通省から全国五団体の一つとして表彰されました。(国の制度を活用した「公共交通活性化」の取り組みが顕著な団体に贈られるもので、今年からスタートされた表彰です)



同実現会議は、北近畿タンゴ鉄道(KTR)の利用促進や京丹後市で実施されている「上限二百円バス」の取り組みをはじめ、さまざまな観点から公共交通および地域の活性化を推進。丹後二市二町で取り組まれている活動により、公共交通の利用者数が増加したことや、地域住民、

交通事業者、行政などが広域的に一体となった取り組みを行っていることなどが高い評価を受けて受賞されたものです。今後も同実現会議では、丹後地域の公共交通が便利で魅力的な乗り物となるよう、さらなる取り組みを進めていきます。

評価のポイント

顕著な成果  
KTRの利用者数が3年ぶりに200万人を突破したほか、京丹後市では上限200円バスの導入により、バス利用者数が倍増。



地域の一体的な取り組み  
地域住民のみなさんとともに、駅舎周辺などの環境美化活動を継続的に実施。



公共交通の利用促進をめざし  
市職員が通勤に利用

取り組み内容

- 月2エコ通勤**  
毎月2日以上をノーマイカーデーとし、公共交通を利用する通勤(エコ通勤)を実施します。
- KTR定期通勤モニター**  
北近畿タンゴ鉄道(KTR)の通勤定期を使って15人程度の職員がエコ通勤。KTRを使って通勤する場合の課題や可能性を検証する調査を実施します。
- KTRサポート**  
京丹後市の重要な公共交通機関であるKTRの事業運営を支援するため、KTRが実施する「KTRサポーターズクラブ」への職員およびその家族の入会を促進します。

地域の公共交通を維持・発展させるため、さらなる利用者拡大に向けた取り組みが求められています。そこで、市役所では、職員が公共交通機関を積極的に利用する運動を七月から始めました。

この取り組みは、地域に暮らすみなさんが、便利な公共交通機関があり、住みよい環境で安心して暮らしを実現するために、公共交通空白地帯の解消、二酸化炭素の排出抑制(低炭素社会の実現)、さらには駅を核としたまちづくりなど、「交通まちづくり」をテーマに取り組みすることとしています。

なお、バスや鉄道などのダイヤの関係で、始業時刻に間に合わない場合は、規則に基づき就業時間を三十分以内に限り遅らせるなどの勤務時間変更措置を行うこととしています。

市職員による公共交通の通勤利用へのご理解とともに、市民のみなさんも市内の公共交通をぜひご利用ください。





「避難行動要支援者」の支援を想定した避難訓練

まちづくり

### 避難支援者とは

避難行動要支援者のかたを日ごろから見守っていただき、災害が発生しそうなときや実際に発生してしまったときに、要支援者のかたに災害に関する情報を伝えたり、一緒に避難するなどの支援を行っていただくかたです。

なお、避難支援者のかたは、あくまでも善意と地域の助け合いにより支援を行うものであり、万一災害時に支援ができなかったり、避難時に事故が発生したとしてもその責任を負うものではありません。

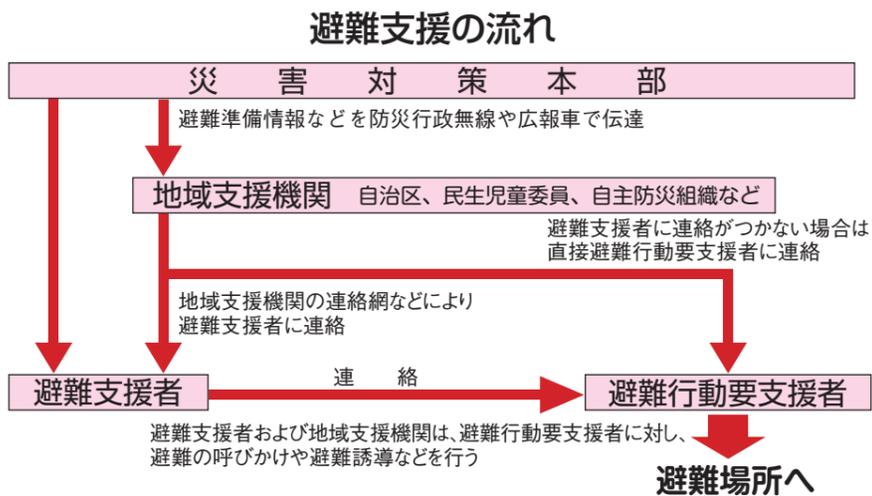
### おねがい

避難行動要支援者登録をしたことで安心することなく、常に「自分の身は自分で守る」という意識を持って、日ごろから避難支援者のかたや地域のかたがたとの良好な関係をつくるよう心がけましょう。

お問い合わせ先  
生活福祉課（☎六九〇三〇〇）

まちづくり

## はじまります！ 「避難行動要支援者登録制度」



近年、全国的に風水害などの災害が多発し、大きな被害をもたらしています。中でも、避難に時間を要する高齢者のかたなどの被災が多くなっています。

このようなことから、市では、災害が発生したときや災害のおそれがあるとき、高齢者のかたや障害のあるかたなどの「災害時要援護者」に対して、災害に関する情報の伝達や、安否確認・避難誘導などの支援を地域のかたがたのご協力を得て迅速かつ円滑に行うため、「避難行動要支援者登録制度」を設けました。

### 登録の方法

この制度への登録が必要と思われるかたにつきましては、民生児童委員さんから市へ報告いただくこととしています。市は報告いただいたかたに対して、制度への登録希望確認を行います。登録を希望されるかたには、後日、民生児童委員さんや区の関係者のかたが訪問し、登録申出書の作成などについての相談にあたり

### 対象となるかた

災害時に避難することが困難な「災害時要援護者」（下記参照）のうち、在宅で、住所や氏名、家族構成、緊急時の家族の連絡先などの個人情報をもとに、民生児童委員さんなどに提供することによって、このかたがたを「避難行動要支援者」といいます。

#### ●災害時要援護者の要件

- ① 65歳以上の一人暮らし高齢者のかた
- ② 要介護4以上の認定を受けているかた
- ③ 高齢者世帯で要介護3以上の認定を受けているかた
- ④ 身体障害者手帳1級・2級の交付を受けているかた
- ⑤ 療育手帳A1・A2の交付を受けているかた
- ⑥ その他必要と認められたかた

上記のいずれかに該当するかたのなかから避難行動要支援者を抽出します。

### 個別支援計画の作成

民生児童委員さん、区、自主防災組織などのご協力と、避難行動要支援者ご本人とお話いただく中で、だれが「避難支援者」となり、どこを避難所にするか、どのような方法で避難するか、避難行動要支援者のかた一人ひとりの具体的な避難支援についての計画を作成していただきます。



### 思いやりの心と地域のきずなを深める

#### プルトップを福祉施設へ贈呈

「小さなボランティア」として空き缶のプルトップ（開け口の金具）を集取り組んでいる網野みなみ保育所（野木知春所長・百四人）で、集めたプルトップ約四五キロを、あみの福祉会桃山の里で活用してもらおうと、七月十六日、同福祉会への贈呈式が行われました。



同保育所でのプルトップ収集は、「思いやりややさしい気持ちを培う」とともに「地域のかたとのつながりを深める」ことなどを目的に、子どもと保護者が一緒になって取り組んでいます。

プルトップは、「何かの役に立つ、役に立てほしい」といった子どもたちの思いにより、一年以上にわたって家庭などから持ち寄って収集。その量は、約四五キロとなりました。

これらの集めたプルトップを資源として活用していただくと同時に、同保育所と地域とのつながりを深めるため、地元の同福祉会へ初めて贈呈することとなりました。さらに、子どもたちの思いを直に伝えるとともにお互いの交流を深めるため、子どもたちから直接手渡されました。



児童八人が代表してプルトップを贈呈

贈呈式では、二歳児から五歳児までの九十一人が参加する中、「みんなが集めました。使ってください」とプルトップを贈呈。同福祉会のみなみさんは「プルトップをいただきありがとうございます。車いすなどの施設の備品の整備に役立てたいと思います。これからもよろしくお願ひします」と笑顔で応えられました。

# 平成21年度京都府特別功勞表彰

## 市町村・地域自治功勞者表彰を受賞 明田村づくり委員会（大宮町明田）

明田村づくり委員会（由利進委員長・十人）は、平成十年、人材育成と地域の活性化を目的に発足しました。高齢化が進む中、家庭菜園でつくられた野菜の無人販売所設置を推進するなど、農産物の販売促進と高齢者の生きがいづくりに貢献。また、炭焼き施設を設置して竹炭をつくることに、竹炭を活用した米づくりなどに取り組み、農産物のブランド化に努めてこられました。

さらには、昨年には、地域内の古民家を田舎体験工房「季楽里」として再生。地域活性化の活動拠点として活用されています。これらの地域活性化における多くの活動が高く評価され、受賞されました。



明田村づくり委員会 由利進 委員長

## 環境保全功勞者表彰を受賞 峰山高等学校弥栄分校

峰山高等学校弥栄分校（本井裕校長・九十九人）では、平成十四年度から環境教育に取り組んでおられます。

校内ではごみの分別や減量を徹底する取り組みや、バイオガス発電施設の見学および同施設での研修などを実施。身近な環境保全活動をはじめ、地域の先進的施設を活用した環境保全意識の醸成まで、さまざまな取り組みを継続的に実施されています。また、生徒会や家庭クラブが全校生徒に呼びかけ、地域内の沿道のごみ拾いを年四回実施するなど、生徒の自主的な環境美化活動も行われており、これらの取り組みが高く評価され、受賞されました。



峰山高等学校弥栄分校3年  
（上段左から）馬原智宏さん、道家もも子さん、中村文哉さん、（下段左から）藤垣佐知子さん、牧田美岬さん、松田惇さん  
8月17日・18日に開催される「京都府高校生環境サミットin Syuchi」（京丹波町）にも参加されます

## 新世紀かがやき交流を受賞 京丹後（宿）おかみさんの会

市内宿泊施設の女将さん二十三人で構成する「京丹後（宿）おかみさんの会」（大町益美座長）は、平成十九年九月に発足しました。丹後の歴史や文化、食材の知識などについて学び、観光客のみなさんをもてなすとともに、丹後ちりめん製のお揃いのユニフォームを着用し、各地での観光PRキャンペーンに積極的に参加。丹後地域の魅力を広く発信されています。

また、北近畿タンゴ鉄道の利用客のみなさんをおもてなしの心でお迎えする「KTRおかみさんアテナント列車」にも取り組み、丹後観光の窓口になるなど、先進的な活動が高く評価され、受賞されました。



京丹後（宿）おかみさんの会  
左から田中智子さん、大町益美座長、丸田智代子さん

## 市町村・地域自治功勞者表彰を受賞 小栗徳宗さん（峰山町菅）

小栗さんは、平成四年九月から峰山町選挙管理委員会委員に就任されました。その後、平成八年九月から平成十六年三月までは峰山町選挙管理委員会委員長を、京丹後市発足後の平成十六年四月から平成十六年六月までは京丹後市選挙管理委員会委員長職務代理を、そして平成十六年六月から現在までは京丹後市選挙管理委員会委員長を歴任。十六年にわたり選挙管理委員会委員、また委員長として公職選挙法および関係法規の規定を遵守しつつ、選挙の管理執行に際し政治的中立性の確保に努めておられます。



小栗徳宗さん

選挙が公正に行われ、人々の意思が正しく政治に反映されるよう、研さんを積み見識を深められることはもとより、ほかの選挙管理委員のみなさんとの連絡を図ることにより円滑な委員会運営にご尽力されるなど、これらの功績が高く評価され受賞されました。

## 教育委員

森 益美さん  
（弥栄町吉沢）



任期：平成21年7月8日  
～平成25年7月7日（4年間）

## 教育委員会委員を 選任

## あしぎぬ顕彰祭 厳かに開催

～先人の足跡を学び、  
丹後織物の限りない発展を願って～

地場産業である丹後織物業の振興を願い、今年で41回目となる「あしぎぬ顕彰祭」（京丹後市商工会主催）が、7月2日、あしぎぬ苑（弥栄町鳥取）で開催され、丹後織物工業組合や市商工会、地元織物関係者など約20人が参加されました。



丹後ちりめんの再生・発展を願い祈禱

同顕彰祭は、今から千二百年以上前の奈良時代に、鳥取の地名が記された織物「あしぎぬ」（練らずに集めた太い蚕糸で織り上げられた古代の織物）が聖武天皇へ献上され、現代に至ってもなお奈良東大寺の正倉院に保存されていることから、この先人の遺徳に深い敬意を払い、昭和四十三年、旧弥栄町が初めて挙行。以来毎年、開催されています。

顕彰祭では、春日神社（弥栄町和田野）の大槻宮司による神事に続き、参列者が玉串を奉てん。丹後織物業の再興を祈念しました。

列席した谷口京丹後市商工会副会長は「私たちの祖先が、はるかかいにしへの天平の時代に、この鳥取の地で糸を紡ぎ、織り、染め上げて、今に残るあしぎぬをつくっていたことに思いをはせるとき、その努力と高い技術に深い敬意を表すところです。近年、丹後ちりめんの生産量は、生活様式の変化や外国製品との競合などにより年々減少していますが、府や市、関係機関が取り組まれている産業振興の施策が実を結び、丹後織物が本格的に復興することを願ってやみません。丹後織物は、何としても守らなければならぬ伝統産業であり、織物の振興が丹後の活性化につながることを認識を新たにして、関係機関と連携して努力したいと思えます」と式辞を述べました。



# 獣害対策



## ニホンザルの被害をなくすためにできること

捕獲は有効な対策の一つですが、ニホンザルが農地、集落に侵入できる環境がある限り被害はなくなりません。次の対策をできることから始めてみてください。

### 毎日の生活の中で

#### ①サルを見かけたら追い払う

- ・農耕地や人家周辺は、危険で不快な場所と認識させましょう。

#### ②絶対に餌を与えない

- ・かわいいからといって餌を与えてはいけません。
- ・収穫しないカキやミカンなども、餌づけになります。

※サルには食べてよいものと食べてはいけないものの区別が付きません。



### 農地・住宅地を餌場と思わせないようにする

#### ①集落環境整備

- ・集落にはサルの大好物がいっぱいです。
- ・墓参りのお供え物も餌になります。お参り後は持ち帰るようにしましょう。
- ・人の生活圏を餌場と認識させないようにしましょう。



#### ②サルの嫌いな環境づくり

- ・サルは人間や犬に追いかけるのが苦手です。
- ・農地の裏山やサルが出る場所には、積極的に出入りしてサルの侵入に注意しましょう。
- ・裏山から続く集落の際の樹木は切り倒して、サルの進入路をなくしましょう。



#### ③防護柵による防御

- ・防護柵を設置し、サルの餌場を減らしましょう。
- ・サルにとって侵入が面倒な集落農地をつくりましょう。



#### ④サルの嫌いな農作物の選定や作つけの工夫

- ・サルが接近しやすい農地で作物を栽培する場合、サルの好まない農作物を選ぶことも重要です。

【サルが嫌う作物例】 サトイモ、ゴーヤ、トウガラシ、ゴボウ、コンニャク、シソなど

- ・農作物は時期が来たら、放置せずに速やかに収穫しましょう。また野菜くすなどを農地や住宅地のまわりに放置しないようにしましょう。

サルにとって魅力的でない集落・畑づくりに取り組みましょう。

# 獣害対策

## ニホンザルの被害をなくすために

近年、イノシシ・シカ・サルなどの獣による農作物の被害は増加傾向にあります。特に獣の中でもサルは知能が高く、サルによる農作物被害のほか生活環境への被害が増えています。

### ニホンザルとは

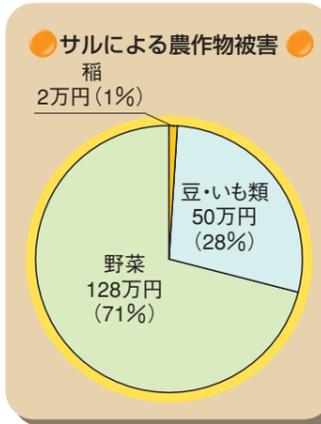
野生の霊長類の中で最も北に生息していることで知られています。体重はオスで一二kg〜一五kg、メスで八kg〜一三kg。人間社会や生息環境の変化で、山里や集落に出没し、農



民家に出没したサルの群れ

### サルによる被害状況

京丹後市におけるサルによる農業被害は、水稲、野菜（家庭菜園を含む）



作物に多大な被害を与える存在です。メスを中心に群れをつくって暮らしており、丹後半島には、十頭〜七十頭の群れが六群存在するといわれています。

### 被害対策の実施

ニホンザルによる被害を防ぐには、「被害地管理」、「生息地管理」、「個体数管理」を総合的に組み合わせる対策を講じることが大切です。市は猟友会に委託し、銃器を使用

みます）を中心に年間百八十万円にのぼります。また、住居への侵入、屋根の瓦やアンテナの損傷など生活環境への被害が増えています。

### 被害対策の3つの管理



サルが集落に侵入しにくい環境づくりを行うなど、ニホンザルとの共生を図る取り組みも必要となります。



した捕獲を行っていますが、住宅地では銃器を使用できないため捕獲対応できない場合が多くあります。まず、防除施設の設置、野菜くすを農地に放置しない、集落内でニホンザルを撃つなら、積極的に里山へ追い払いを行うなどの被害地管理を、集落ぐるみで取り組んでいただき、そのうえで効率的に鳥獣捕獲（個体数管理）を行う体制づくりが必要となっています。また、被害防止の取り組みとともに、野生動物を遠ざける対策として注目されているレンタカウ（貸し出し牛の放牧による荒廃地対策）を活用したバッファゾーン（人里と野生動物との緩衝地帯）の整備により、



# 夏休み KTR ファミリー 得とくクーポン



大人1人のきっぷを買くと、**子ども2人の運賃が無料**となります  
8月31日まで (ただし、8月16日は除きます)

- ご家族(大人と小学生のお子さん)がKTRを同時に同一行程でご利用いただく場合に、駅員のいるKTR各駅で発行します。(ただし、特急列車をご利用の場合は、大人・子どもとも所定料金が必要です)
- 有効期間は発行当日で、ご利用はKTR線内に限ります。(車内および駅員のいない駅では発行できません)
- ほかの企画乗車券との併用利用はできません

# 安い 近い 短い 5人までの小旅行に最適

## ホリデーグループきっぷ登場



ご家族やお友だちなどのグループでご利用いただけるフリーきっぷ、「KTRホリデーグループきっぷ」が誕生しました。  
KTR区間内であれば、5人まで(同一行程)まとめて2,000円。土曜・日曜・祝日、8月13日～16日、12月28日～1月5日に限りご利用いただけます。  
きっぷ販売員のいるKTR各駅で販売中です。(ただし、特急列車をご利用の場合は、大人・子どもとも所定料金が必要です)

**例 網野駅～福知山駅**  
大人2人、子ども3人で乗車した場合の往復運賃  
8,680円 ➡ **2,000円** (6,680円もお得です)

# 京都府丹後文化会館イベント情報 ■お問い合わせ/京都府丹後文化会館 ☎62-5200 (9:00～17:00/土日祝除く)

## =市制5周年記念= 「歌の散歩道」 公開収録

市制5周年記念として、NHKラジオ番組「歌の散歩道」の公開収録を、今回、東京・渋谷のNHKスタジオパークを飛び出して、京都府丹後文化会館から、ゲスト歌手の歌と楽しいおしゃべりでつづるひとときをお届けします。観覧ご希望のかたは、次の要領でお申し込みください。



八代亜紀 瀬川瑛子 門倉有希

1. 日時……9月25日(金)  
開場: 17:00 開演: 18:00  
終演予定: 19:45
2. 会場……京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
3. 出演……八代亜紀、瀬川瑛子、門倉有希
4. 申し込み……入場無料

郵便往復はがき(私製のをぞく)に次の事項をご記入のうえお申し込みください。

【往信用裏面】(1)郵便番号、(2)住所、(3)名前、(4)電話番号

【返信用表面】(1)郵便番号、(2)住所、(3)名前

【返信用表面】何も書かないでください。(抽選結果を印刷してご返送します)

\*応募多数の場合は、抽選のうえ入場整理券(1枚で2人入場可)をお送りします。

\*当選は、お1人様1枚とさせていただきます。

\*1歳以上のお子さんから入場整理券が必要です。

(あて先) 〒627-0012 京都府京丹後市峰山町杉谷1030 京都府丹後文化会館「歌の散歩道」係(締め切り)9月4日(金) 必着

5. 放送予定……10月5日(月) 14:05～14:35 (ラジオ第1)  
10月6日(火) 14:05～14:35 (ラジオ第1)  
10月7日(水) 14:05～14:35 (ラジオ第1)

6. 主催……NHK京都放送局・(財)京都府丹後文化事業団・京丹後市

## 「京丹後ふるさと応援団」はこんな制度です

**Q 入団**できるのはどんなひと?

**A** 本市以外に在住するかたなら、どなたでもご入団いただけます。(市民のかたはご入団いただきません)

**Q 会費**は必要ですか?

**A** 年間1,000円の入団費が必要です。

**Q どのような特典**がありますか?

- ①会報誌を年4回お届けします。
- ②団員証をご提示いただくことで、市内協賛店でのさまざまな特典が受けられます。
- ③丹後の優れた地場産品の斡旋が受けられます。
- ④「コウノトリ但馬空港～東京羽田空港」間の航空運賃助成が受けられます。

**Q 京丹後ふるさと応援大使**って何ですか?

**A** 団員の中から、さらにご協力いただけるかたを「京丹後ふるさと応援大使」として委嘱させていただきます。京丹後市をPRする「特製名刺」を全国でお配りいただきます。

パンフレット兼入団申込書は、各市民局にあるほか、郵便でもご請求いただけます。詳しくは、京丹後ふるさと応援団事務局(企画政策課内・☎69-0120)へお問い合わせください。



**ご存じですか**  
**京丹後ふるさと応援団**  
市では、本市の発展を真に応援していただくかたの輪を広げようと、市外在住のかたにご参加いただく「京丹後ふるさと応援団」に取り組みでおり、京阪神を中心に東北から九州まで、応援団の輪が全国に広がっています。  
今回は、市民のみなさんにいっそう、応援団を知っていただくため、市民のみなさんに改めて応援団についてご案内します。今年度からは、「コウノトリ但馬空港～東京羽田空港」間の飛行機利用について、航



区分	助成金額
一般航空券	片道 <b>4,000円</b> (12歳以上)
	<b>2,000円</b> (3歳以上12歳未満)

このほかさらにお得な企画商品もご利用いただけます。詳しくは、企画政策課(☎69-0120)へお問い合わせください。

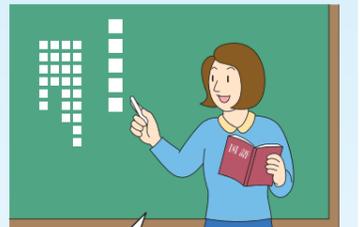
空運賃の助成制度もご利用いただけます。市外にお住まいの知人のご家族のかたに、ぜひ応援団のことをお知らせください。

## きょうたんごし す がいこくじん 京丹後市にお住まいの、外国人のみなさんへ

# にほんごきょうしつ はじ 日本語教室 を始めました!

## 京丹後市 国際交流協会

「日本語を勉強するチャンスがなかなかない」、「地域の活動に参加したいけれど、日本語が分からずなかなかとけ込めない」などのお悩みはありませんか。京丹後市国際交流協会では、そのようなみなさんに「日本語教室」を開催します。少人数制の教室で、日本の文化などにも触れながら勉強してみませんか。



じゅこうじかん じゅこうばしょ こうし 受講時間、受講場所、講師 については、個別にご相談のうえ決めます。

- ▶ **受講資格** 市内在住の外国人のかた
- ▶ **受講時間** 1回あたり2時間以内
- ▶ **受講料** 1回あたり200円(非会員) 1回あたり300円

▶ **講師** 京丹後市国際交流協会の日本語講座ボランティアスタッフ

▶ **申し込み** 申込用紙(京丹後市国際交流協会事務局および各市民局にあります)に必要事項をご記入のうえ、事務局へご持参ください。

▶ **申込先・お問い合わせ先** 京丹後市国際交流協会事務局(京丹後市役所 企画政策課内) (☎69-0120・FAX69-0901・Eメールアドレス kokusai\_koryu@city.kyotango.kyoto.jp)

あなたの声を市政に

ご意見箱

紙面の都合によりご意見などを一部割愛させていただきます。

Q

学童保育の指導方針について

小学生の子どもの親ですが、現在、共働きをしております子どもを学童保育に預けたいと思っています。しかし、人づてに、場所によっては学童保育の指導員のかたの指導が厳しく子どもが行くのをいやがって、やめられたと聞きました。

個人的には、親が帰宅するまでの間、子どもには楽しくてもらいたいですし、またそこに通いたいと言ってもらえればいいと思っています。ほかの子どもに迷惑をかけたときはしっかりと叱ってもらえるような、家庭的な保育をしてほしいです。

そこで、学童保育の係のかたや、指導員のかたは、どのような指導方針（考え）で学童保育をされているのか聞かせてください。

【市内 男性】

向けた明確で効果の見込まれる施策が打ち出せておりません。

しかしながら、定住施策はまさに待ったなしの状況と認識していることも事実です。施策実施に伴う財源などの問題もありますが、現在は市としてもできる限りの対応をとるために具体的な対応策の調整を行っているところであり、分かりやすく使いやすい有効な施策を速やかに打ち出せるよう取り組んでまいりたいと考えています。

今回いただきましたご意見のように、多くのおみなさんから建設的なお声やお知恵を本市施策に活かしてまいりたいと思いますので、今後ともアイデアなどがございましたら企画政策課（y-ikaku@city.kyotango.kyoto.jp）へお寄せいただきますようお願いいたします。

【企画政策課】



A

子どもたちの健全育成に向け、楽しく過ごせるクラブとなるよう心がけています。

放課後児童クラブは、保護者のかたの就労などのため、下校後の家庭での保育に欠けるお子さんをお預かりし、健全な遊びと正しい生活習慣を身につけ、集団の場でのルールを守りながら、子どもたちの健全育成を図ることを目的に実施している事業です。

現在、市内の各放課後児童クラブでは、利用いただいています子どもたちの人数も年々増加する中、限られた場所での運営を実施していることから、子どもたちの安全面には指導員も日々、細心の注意を払っているところですが、ご意見にもありますように、子どもたちの行動から事故やけがなどにつながると思われることがあった場合、指導員が大きな声で叱ることもあります。子どもたちも一人ひとりの感じ方が違いますので、子どもにあった注意の仕方心がけているところですが、あらためて、指導員と十分に話し合い、子どもたちが楽しく過ごせるクラブとなるよう努めていきたいと思っております。

Q

土曜日の保育と乳幼児の遊び場について

核家族で両親共働きのため、大宮町でもぜひ土曜日の保育を午後六時まで行ってほしいです。市が行っているファミリー・サポートセンター制度は知っていますが、いつもお世話になっている保育所の先生のほうが、子どもも慣れているため安心できます。ご検討ください。

また、雨や雪の日には、自由に活動できる場所がなかなかありません。公園も少なく、子育て支援センターは週に一回の開設しかないので困っています。何とかならないでしょうか。

【無記名】



「ご意見箱」投稿に際しておねがい

ご意見箱へお寄せいただくご意見には、お名前などの個人が特定できる部分やプライバシーに関わる部分を除き、すべてお答えすることとし、お名前や連絡先をご記入いただいているかたにつきましては、直接お答えもさせていただきます。一方、お名前や住所などの連絡先の記入のないものにつきましては、市のホームページおよび広報紙でお答えすることとしています。

ホームページには、個人情報に関するものを除き、随時掲載していますが、広報紙は月に1回の発行であり、どうしてもお答えを掲載するのに時間がかかってしまいます。また、広報紙では紙面が限られているためご意見やお答えを一部割愛して掲載することとなります。

これまで、お名前や連絡先などが記されていたご意見では、ご意見の内容を確認させていただき、できる限り正確でいねいな回答をお返すように努めています。お名前や連絡先などが記されていないご意見につきましては、再質問的に何度もいただいているご意見もあります。正確な回答をできるだけ速やかにお返すために、住所をはじめ、お名前・連絡先などをぜひご記入ください。

【子ども未来課】

A

有効な施策を速やかに打ち出せるよう取り組みます。

児童クラブの生活は、あくまでもご家庭の子育てを補完するものであり、家庭と児童クラブの連携がたいへん重要であると考えています。子どもたちの健やかな成長を支援するため、保護者のおみなさんご意見をお聞きしながら充実させていきたいと考えていますので、今後とも児童クラブの運営にご理解とご協力をお願いします。

【子ども未来課】

Q

市の活性化と定住支援について

現在、私はアメリカや東京で仕事をしています。故郷の京丹後市を活性化できる方法がまだまだあると感じています。例えば、農業などはかなり大きな可能性がありそうです。行政と民間がもっと連携する必要があります。イニシアチブ（主導権・首唱）の取り方がすべてだと考えます。

今や京丹後市は、映画・木津温泉・久美浜温泉など東京のテレビや雑誌などで大きく取り扱われています。そのため多くのかたが京丹後市のホームページなどを見ていると考えられます。この機会に行政として定住者を支援し、今後の税収の問題や高齢化の歯止めとして、直ちに法整備などをしていただくよう要求します。

【市外 男性】

A

保育内容の充実の準備をすすめています。

土曜日の午後保育をはじめとした長時間保育ニーズは、保護者のかたがたの就業形態の多様化に伴い年々高まっています。公立保育所だけではすべての保育ニーズに応えることには限界もあり、その対応の一つの手法として、一部の市立保育所を社会福祉法人へ運営委託し、土曜日の午後保育や休日保育、夜間保育を行うなど、保育内容の充実を図りたいと考えており、現在、その準備をすすめているところです。また、統廃合を進める中で、土曜日の午後などの延長保育についても充実を図ることとしておりますので、今後検討を行いたいと思っております。

次に、遊び場所についてのご意見ですが、子育て支援センターには多くのおみなさんにご登録いただいておりますが、現在のところ、同センターは旧町ごとに一か所の設置としております。

平成十八年三月に策定しました「第一次京丹後市総合計画」においては、平成二十六年の定住人口七万人を目標として設定しているところですが、現在の人口は六万二千七百七十一人（平成二十一年六月一日現在）と、目標人口とは約七千八百人の差が生じています。市としてもこうした状況には従前から大きな危機感を持って、定住対策や地場産業の活性化や公共交通体系の利便性向上策に関わる庁内プロジェクトチームを平成十八年度から順次設置し、観光産業の振興策や働く場の確保策はもとより、農林水産物のブランド化、上限二百円バスの実証運行、空き家情報バンク制度の整備など限られた財源の中でさまざまな施策を企画立案しながら取り組んできているところです。

定住対策は、一時のカンフル的な取り組みでは成果を生み出すことはできず、長期的・戦略的な視点での対応が必要と考えています。具体的には、市内に定住可能な居住環境をつくり、同時に、交流人口の増加と働く場の確保にセットで取り組みながら、真の定住へとつなげていかなければなりません。ご意見としていただいておりますように、現在のところは、移住するまでの支援と移住した際の支援、さらには移住後の支援など、定住者増加に同センターの利用については、保育所入所前の幼児のかたを対象に日にちごとに年齢別に分けて利用いただいておりますので、実際に利用できるのは週に1回程度にとどまっております。ご不便をおかけしたいへん申し訳なく思っております。今後の保育所統廃合などにあわせて、増設などの検討を行いたいと考えておりますのでご理解をいただきたいと思っております。なお、保育所では、定期的に園庭などの開放や子育てサポートセンター（日程など詳しくは子ども未来課へ六九一〇三四〇）へお問い合わせください）などを子育て支援の補完的業務として行っておりますので、併せてご利用いただきたいと思います。

今後とも市民のおみなさんの保育ニーズを、さまざまな施策に確実に反映することが大切であると考えていますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

# 市立図書館 ご案内

## ★ 便利な図書館を めざします

市立図書館では、2月に実施した利用者アンケートで寄せられましたご意見を参考に、さまざまな取り組みをしています。

### お寄せいただいたご意見

「市内の蔵書を入れ替えてほしい」

▶▶ 他館の本も借りられます

システムの関係上、図書を入れ替えることは難しいのですが、最寄りの図書館(室)で他館の本を借りていただけるよう、次のような工夫をしています。

- ①最寄りの図書館(室)に返却された市内のほかの図書館(室)の本を、次の日までをめぐりに展示しています。
- ②大宮・弥栄図書室は峰山図書館から、丹後・久美浜図書室はあみの図書館から、月の初めに一定量の本を持ち帰り、利用者の方が直接手にとって借りていただける取り組みをしています。
- ③そのほか、ご家庭からや図書館(室)で読みたい本を予約することによって、最寄りの図書館(室)へ取り寄せることもできますのでご利用ください。



丹後図書室 市内の本のコーナー

## ★ 市立図書館の新刊を 紹介しています

あみの図書館では、市内の図書館に1か月以内に入った新刊を紹介しています。

読みたい本を最寄りの図書館まで取り寄せることができます。

そのほかの館でもさまざまな方法で新刊を紹介していますので、お気軽にお尋ねください。



### 「ブッタとシッタカブッタ」小泉吉宏作

「学校に行かない!行きたくない!行けない!」こんなことを子どもが言い出したことがありました。うすうす感じてはいたものの「ああやっぱりホント?」認めたくはないけど認めざるを得ない現実。親も辛い子どもはさらに辛い。

当時、その子とよく本屋へ出かけました。多くの本に出会った中で、親子とも心に残る1冊となったのがこの本です。4コマ漫画の形態をとって、内容はブタの姿をした「ブッタ」と、知ったかぶりの「シッタカブッタ」が問答をしていくものです。ブッタといっても、宗教的で堅苦しい示唆に富んだものではなく、つらくて苦しい心に寄り添い、支えてくれる本でした。より良く楽しく生きたいと願う日々の中で、物事にとらわれず、無理せず、「そのまんまでいいんだよ」と語りかけてくれる穏やかな本です。目につく本棚において折に触れ開いています。

丹後町 女性

### 8月の休館日

10日(月)・17日(月)・24日(月)・31日(月)

### 9月の休館日

1日(火)・7日(月)

※休館日は、8月10日以降から次号発行日の9月10日までを掲載しています。

## 京丹後市の文化財 四六

### 網野神社 (網野町網野) 国登録有形文化財に

国の文化審議会(西原鈴子会長)は、六月十九日、網野神社の本殿、拝殿(はいでん)、蚕織(こおり)神社本殿を含む八棟の建物を、国の登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。

これにより、京丹後市内で、「旧口大野村役場」、「稲葉家住宅・長屋門・南宝蔵・北宝蔵」に続き三件目となる、国の登録有形文化財建造物が誕生することとなります。

答申を受けたのは、網野神社本殿・拝殿・蚕織神社本殿・饌所(しんせんじょ)供物を渡廊(わたろう)殿舎と殿舎...調理するための建物、透塀(す



網野神社本殿

きべい)、手水舎(てみずしゃ)、石鳥居の建造物八棟です。

網野神社は、日子坐王(ひこいすののみこ)、住吉大神(すみよしのおおかみ)、水江浦島子神(みづのえうらしまこのかみ)を祭神とする延喜式内(えんぎしきない)社。享徳元年(四五二年)に砂に埋もれそうになったため、現在の場所に遷座(せんざ)されたと棟札(むなふだ)には記されています。特に網野の浦島伝承を伝える水江浦島子を祭神としていることは、この地の歴史とあわせて注目されます。

網野神社本殿は、間社流造(いつけんしやながれづくり)、金属板葺の建物。建築されたのは、大正十一年で、設計は奈良県技師の岸熊吉、大工棟梁は城崎郡竹野村の長岡虎造であることが、棟札からわかっています。歴史的な様式意匠に精通した岸の手腕が発揮され、墓股(かえるまた)など華麗な彫刻が施されています。

拝殿も大正十一年に建造されましたが、昭和二年三月七日の丹後震災により倒壊。



網野神社拝殿

現在の建物は、昭和四年に岸熊吉が設計し、大工棟梁の長岡虎造により再興されたものです。正面に唐破風(からはふ)を設け、上部に千鳥破風(ちどりかはふ)をつけた入母屋造(いりもやづくり)の堂々とした風格を持つ建物となっています。

蚕織神社の建物は、棟札から判断して天明二年(二七八年)に建てられたと推定される、松皮葺(ひわだぶき)の間社流造の建物です。向拝(こうはい)のまわりは、龍や邪鬼(じゃき)、唐獅子(から



網野神社位置図

じし)などの彫刻により、華やかに飾られており、見所となっています。

このほか、渡廊は昭和四年、神饌所および透塀は昭和前期、手水舎は昭和十八年、石鳥居は明治十四年につくられており、いずれも文化的に価値の高い建物です。



蚕織神社本殿

# 農山村地域の 活性化をめざして 緑のふるさと協力隊



地球緑化センターの金井久美子事務局長(右) 野間活性化グループの岡本 毅さん(中央) 隊員として活躍する伊藤 拓さん(左)

市では、平成十四年から旧弥栄町で緑のふるさと協力隊を受け入れ、地元のかたとの協働による地域の活性化に取り組んでいます。

今回の協力隊員は、秋田県秋田市出身の伊藤拓さん(大学三回生)。現在は、大学を一年間休学し、協力隊へ参加されています。

## 緑のふるさと協力隊

NPO法人「地球緑化センター」(東京都)の取り組みの一環である「緑のふるさと協力隊」は、農山村に興味をもつ若者を全国から募って、地域活性化をめざす地方自治体に一年間派遣するプログラムで取り組まれています。

## 地域での取り組み内容

今年で七期生となる隊員の伊藤さんは、京丹後市の受け入れ先である都市農村交流施設「野間の家もんやこ」(弥栄町野間)で一年間居住し、野間の地域活動の手伝いや、森林組合との森林整備、天女の里(峰山町鱒留)の園内整備、弥栄生きがい交

流センター(弥栄町野中)の事業の手伝いなど、広域的に活動を展開されています。

弥栄町野間地域で同協力隊と共に活動をされている、野間活性化グループの岡本毅さんは「協力隊に地元もいい刺激を受けている。今までの協力隊員が、毎年野間に集まり、今でも楽しく交流が持ててい

## 緑のふるさと協力隊に参加して

### 第七期生 伊藤 拓さん

協力隊への参加は、半年前に大学で偶然手にとった情報誌の記事をみて協力隊のことを知ったのがきっかけ。山村での暮らしの中で、人としての豊かさ、自分の知らない生き方や暮らしの手応えなどを、活動体験や地元のかたとの交流を通して感じたいと思い参加しました。

京丹後市は、受け入れ体制がしっかりしていて、行く先々で息子のようによくしてくれてとても楽しく過ごさせてもらっています。主な仕事は、天女の里や丹後あじわいの郷での芝刈りや草取り、ハーブの植え付け、コンニャクづくりなどさまざま。毎週金曜日には、生きがい交流センターで高齢者のかたとの交流を深めています。また、六月に開局しました「FMたんご」に出演し、地域の取り組み情報の発信もしました。

協力隊として、山間地域での体験や、個性あふれる地元のかたの情報を、少しでも多くのかたに知っていただけるように、インターネットなどで情報を発信していきたい。学ぶことがたくさんあるので、一日一日を大切に、目の前の環境・暮らしを思いっきり楽しみ、地元のかたたちや地域が元気になるようにがんばっていききたいと思います。

る」と、また同センターの金井久美子事務局次長は「魅力ある人、元気な人のところに人は集まる。この活動で、隊員だけでなく地域のかたにもいろいろな発見をしていただける。地域の人の関わりが大切」と取り組みの意義を話されました。

## 人口・世帯数

男	30,062人 (-20)
女	32,070人 (-19)
計	62,132人 (-39)
世帯数	22,147世帯 (-4)

(7月1日現在・()内は前月比)

発行/京丹後市役所 編集/秘書広報広聴課  
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889  
☎0772-69-0110 FAX.0772-69-0901  
ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>  
E-mail [hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp](mailto:hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp)